

近鉄の主要特急について

1,動機

関東に住んでいると馴染は薄いですが私は幼少期から近畿日本鉄道（近鉄）が好きである。

そんな近畿日本鉄道（近鉄）の魅力というと数多くあるが今回はその中でも特急の魅力を考えてみた。近鉄の特急には、いろいろな種別がある。その中で四つの特急を紹介する。

2,車両の説明

①アーバンライナーネクスト(next)とプラス(plus)

アーバンライナーには「アーバンライナーネクスト(next)」、21020 系と「アーバンライナープラス(plus)」、21000 系がある。

「アーバンライナープラス(plus)」21000 系(下の写真—今里駅にて)は 1988 年に登場し、6 両固定編成、8 両固定編成で運転されている。民鉄初の 120 km/h 運転を行い、大阪と名古屋間で **2 時間**を切る



車両となった。

今までの特急と違い、新しい社内設備や新しいデザインを取り入れ
デラックスシート車という特別車両も連結されている。

1989 年にはブルーリボン賞を受賞した。

「アーバンライナーネクスト(next)」、21020 系は 2002 年に建造し
2003 年に名阪特急として運用された。6 両固定編成です。新開発の
「ゆりかご型シート」や全席禁煙などを導入した。

「ゆりかご型シート」とは、背ずりを倒すと座面後方が連動して沈み
込み、体が包み込まれるような感覚を得られるシートである。

②「しまかぜ」50000 系（右の
写真一近鉄名古屋駅にて）。

2013 年の伊勢神宮式年遷宮
にあわせて、登場しました。6
両固定編成。「しまかぜ」とい



う名称は「志摩に吹く風の爽やかさ」をイメージして命名された。

先頭車両には見晴らしのよいハイデッカー車両としたほか、サロン
席や和風個室も導入した。

乗り心地が良く、乗車記念カードをもらい、近鉄名古屋駅まであっという間だった（右の写真は車内でいただいたもの）。



③「ひのとり」80000系(右の写真—近鉄鶴橋駅にて)。

「くつろぎのアップグレード」をコンセプトとし、2020年に登場した。6両固定編成、8両固定



編成である。「ひのとり」という名称は「先進的でスピード感のある車体フィルムと深い艶感のあるメタリックレッドといった外観のデザインに加え、ゆったりとした車内空間や上質なサービスを提供する気品のある車両」というイメージを「ひのとり」に重ね合わせて命名された。

3,まとめ

近畿日本鉄道（近鉄）は日本一、営業距離が長い鉄道会社である。私はビスタカーが好きであるが、近年、車両が減ってきている。しかし、

私は近鉄のリゾート特急も好きで何度も乗車している。近畿日本鉄道（近鉄）は都心と観光地を結ぶ路線であり、魅力がたくさんある路線だと思っている。

4,参考文献

- ①小学館の図鑑 NEO 鉄道
- ②一般車両―近畿日本鉄道/鉄路の名優
- ③写真は筆者撮影